

問1 次の文中の（ ）内に、最も適当なものを下記の語群の中から選び、解答欄に数字で答えなさい。

消費者行動は、（ A ）→使用→（ B ）→廃棄の4プロセスからなる。これら4プロセスのうち、消費者も企業も関心が高い行動は、（ C ）である。

日本の第2次大戦後の衣服購買行動をマズローの欲求階層理論に当てはめると、まず衣服には（ D ）欲求や安全欲求が求められた。その後、高度成長による大量生産品と流行を追った1960年代の（ E ）欲求時代、DCブランドによる（ F ）欲求の1980年代を経て、1990年代には（ G ）欲求の段階に入ったと言われる。

消費者は商品を選択するために、商品に関係する外部情報を収集し、また自分が内部に保持している関連した（ H ）（長期記憶）を動員する。外部情報を収集する量は、対象とする商品が（ I ）なほど多く、また（ J ）では少ない。

[語 群]

- | | | | | |
|-----------|---------|---------|-----------|---------|
| 1. 購買行動 | 2. 消費 | 3. 高価 | 4. 購買 | 5. 心理的 |
| 6. 帰属 | 7. 自己実現 | 8. 安価 | 9. 消費行動 | 10. 維持 |
| 11. 差別化 | 12. 装飾 | 13. 投資 | 14. 生理的 | 15. 日用品 |
| 16. 感覚・知覚 | 17. 個別 | 18. 贅沢品 | 19. 知識・経験 | 20. 生産 |

問2 次のA～Eの文で、①②の両方が正しい場合には『1』、①②のいずれかが誤っている場合には『2』、①②の両方が誤っている場合には『3』を解答欄に記入しなさい。

- A. ①有意抽出法の典型として、クォータ法があげられる。
②有意抽出法は、調査者の主観によって標本を抽出するため、調査結果に偏りが発生しやすい。
- B. ①単純無作為抽出法では、一般的に乱数表などを使って標本を抽出する。
②単純無作為抽出法は、標本誤差が少ない抽出法であることから、消費者調査で一番よく使われる。
- C. ①系統抽出法の短所は、調査データの散らばり(ばらつき)が大きくなることである。
②系統抽出法は、単純無作為抽出法よりも標本誤差が大きい。
- D. ①多段抽出法には、二段抽出法、三段抽出法などがあるが、抽出段階が増えるほど標本誤差は大きくなる。
②多段抽出法は、抽出段階ごとに誤差が生じて精度が落ちるため、消費者調査には向かない。

- E. ①層別抽出法は、単純無作為抽出法と比較して標本数が少ない場合でも精度を上げることが可能なため、消費者調査でよく使われる。
- ②層別抽出法で、それぞれの層から抽出する標本数の設定については、母集団における各層の構成比率に比例して標本数を割り当てる比例割り当て法が、一般的に使われる。

問3 次のⅠ～Ⅹの文中の（ ）内に、最も適当なものを各々の語群の中から選び、解答欄に数字で答えなさい。

- I. 商品選択にあたって、その消費者が商品に抱く関心の度合いを（ A ）と呼ぶ。
（1. 関与 2. 態度 3. 同意）
- II. プリテストでは、質問の言葉づかいや言い回し方、すなわち（ B ）が適切かどうかなどを検討する。
（1. コーディング 2. エディティング 3. ワーディング）
- III. REC スケールにおける 12 の質問のうち、「買うのは必要最低限にとどめておく」、「実用性とか使いやすさを重視して買う」は（ C ）の商品特性を表している。
（1. 経済性 2. 探索性 3. 実質性）
- IV. 商品の評価における客観的評価方法のうち、商品が持つ多くの特性に点をつけ、その合計または特性にウエイトづけした合計点が高い商品を選択する方法を（ D ）と呼ぶ。
（1. 規範型 2. 計算型 3. 補償型）
- V. 価格が変化しても需要の変化が少ない品目は（ E ）と呼ばれる。
（1. 必需財 2. 特殊財 3. 選択財）
- VI. 全数調査では、（ F ）が皆無である。
（1. 標準誤差 2. 標準偏差 3. 標本誤差）
- VII. 消費者の購入金額などの連続値を、適当な階級に分けて度数表で表した時に、度数が一番多い階級の階級値を（ G ）という。
（1. メディアン 2. モード 3. ミーン）
- VIII. RDD 法は、（ H ）の一つである。
（1. 深層心理学 2. 多変量解析法 3. 電話調査法）
- IX. 多くの回答選択肢の中から所定の数を選ぶ場合を（ I ）という。
（1. 制限選択 2. 単一選択 3. 多項選択）
- X. 言語、絵画、写真などの刺激を与えて、刺激に対する反応を分析して意識を探る調査法を（ J ）という。
（1. 観察法 2. 投影法 3. 間接反応法）

問4 次のA～Hに最も関係が深いものを各々の語群の中から選び、解答欄に数字で答えなさい。

- A. 2012年（平成24年）に施行された法律で、消費者教育の重要性を明示し、その総合的・一体的な推進と、国民の消費生活の安定・向上に寄与する法律の正式な名称
（1. 消費者教育の普及に関する法律 2. 消費者教育の推進に関する法律
3. 消費者教育の促進に関する法律）
- B. 組合員の出資による運転資金の確保、購買額に応じた剰余金の配分、市価・現金主義などの、英国での生協活動の原点となる運営原則
（1. オクスフォード原則 2. ロッチデール原則 3. ウェールズ原則）
- C. 「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」において有害物質として規制されているホルムアルデヒドの対象となっている乳幼児用繊維製品
（1. 手袋 2. マフラー 3. くつ）
- D. 体内で分解することにより生成される物質に発がん性が疑われるため、特定の24種類が2015年（平成27年）に「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」の規制対象に追加された。
（1. フタル酸エステル 2. メラニン色素 3. アゾ染料）
- E. 広告等の表示について、優良誤認と疑われる場合に、消費者庁が事業者に対し、表示の裏付けとなる合理的な根拠を示す資料の提出を求める期間
（1. 10日間 2. 15日間 3. 30日間）
- F. 組織における消費者対応が、一定の基本原則に基づいて実施されるよう示された国際規格。この規格に則って顧客対応窓口を運営し、規格への自己適合宣言を行なっている企業がある。
（1. ISO 26000 2. ISO 10002 3. ISO 9001）
- G. 資源有効利用促進法において、識別マークの表示が義務づけられている容器包装に該当するもの
（1. 社名入り包装紙 2. 配送用段ボール箱 3. 保管用布団袋）
- H. 不当景品類及び不当表示防止法において、一般消費者に誤認されるおそれがあるとして、内閣総理大臣が指定する不当表示
（1. 優良誤認不当表示 2. 有利誤認不当表示 3. 原産国不当表示）

問5 次のA～Gの文に最も関係が深いものを下記の語群の中から選び、解答欄に数字で答えなさい。

- A. 特定商取引法などに規定されている無条件解約制度で、消費者は理由の有無を問わず定められた期間内であれば契約を解除できる。
- B. 保護される者としての消費者から、新たに自立した主体となり市場に参画する消費者への位置づけに変わるきっかけとなった法律
- C. 消費者問題に関して、内閣総理大臣に対し勧告・報告要求ができる独立した第三者機関
- D. 5年ごとに作成される、国の消費者行政の推進において重要な役割を果たす計画
- E. ワイシャツに「形態安定」と表示していたが、実際には「形態安定加工」がされていなかったため、不当表示と認めて消費者庁が行う命令
- F. JIS L 0001（繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法）の記号のうち、の基本記号で表す処理方法
- G. 製品により重大事故が発生した場合、製造事業者が内閣総理大臣へ報告することを義務付けた法律。繊維製品では、登山用ロープや乳幼児用ベッドが特定製品に指定されている。

[語 群]

- | | | |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 消費生活用製品安全法 | 2. 消費者安全法 | 3. 消費者行動計画 |
| 4. 特定商取引法 | 5. 消費者基本計画 | 6. クーリング・オフ |
| 7. 無制限解約制度 | 8. 商業クリーニング | 9. 乾燥 |
| 10. 改善命令 | 11. 消費者基本法 | 12. 消費者保護基本法 |
| 13. 消費者委員会 | 14. 措置命令 | 15. 消費者庁 |
| 16. 消費生活センター | | |

問7 次のⅠ～Ⅷの文中の()内に、最も適当なものを各々の語群の中から選び、解答欄に数字で答えなさい。

Ⅰ. 日本の繊維産業において、1965年の時点で従業員シェアが57.9%を占めていたのは、(A)の部門である。

(1. 製造業 2. 卸売業 3. 小売業)

Ⅱ. 被服費係数は、(B)支出が消費支出に占める割合をいう。

(1. 既製服及び注文服 2. 外衣及び下着 3. 被服及び履物)

Ⅲ. 原糸メーカーが自社の糸を用いて、自家生産あるいは委託生産で織る生地を(C)と呼ぶ。

(1. オリジナル生地 2. チョップ生地 3. プライベートブランド生地)

Ⅳ. 日本ショッピングセンター協会の定義によれば、ショッピングセンターとは小売店舗面積が(D)以上のものである。

(1. 1,500 m² 2. 3,000 m² 3. 5,000 m²)

Ⅴ. 三国間貿易のうち、日本の本社が売買、代金決済の当事者の場合、外国為替及び外国貿易管理法で、特に(E)の名称が付与されている。

(1. キャッチオール 2. 輸出貿易管理 3. 仲介貿易)

Ⅵ. 化合繊維物の生産や、撚糸、染色などの加工については、主に(F)が採用されている。

(1. 売買方式 2. 委託方式 3. 賃加工方式)

Ⅶ. 繊維産業におけるクイックレスポンス(QR)の基本的目標は(G)を向上させることにある。

(1. 製品品質 2. 顧客満足度 3. 製造技術)

Ⅷ. 訪日外国人による国内での消費を(H)消費という。

(1. インナー 2. アウトバウンド 3. インバウンド)

問8 次の文中の（ ）内に、最も適当なものを下記の語群の中から選び、解答欄に数字で答えなさい。

情報流通という場合の「情報」は、シルエット、ディテール、色・柄、(A)のほか、品質、規格などの商品情報を意味するが、(B)情報、仕入先情報、取扱い方法の情報も含まれる。商品情報の受発信システムには、企業内システム、(C)内システム、アパレル企業と小売企業間のシステム、および企業と消費者間のシステムの4つがある。

ICTの進展とスマートフォンを始めとする情報携帯端末の普及は、消費者をシームレスな全方位に捉える(D)をもたらしている。また、従来のPOS情報の他に(E)は、的確な商品情報の掌握、(F)、また、店頭での(G)の省力化など(H)全体にも寄与している。

店舗とオンラインの物量の増大により、迅速な配送が必須となっており、経営戦略の重要な一環に位置付けられる物流を(I)と呼ぶ。また、さまざまな「モノ」がインターネットに接続され、情報交換することで相互に制御する仕組みを(J)と呼ぶ。

[語群]

- | | | | |
|----------------|--------------|---------|----------|
| 1. トренд | 2. IoT | 3. 産地 | 4. ユビキタス |
| 5. 商業力指数分析 | 6. RPKI | 7. 素材 | 8. 縫製 |
| 9. 購買行動分析 | 10. ロジスティクス | 11. 売場 | 12. RFID |
| 13. 人材管理 | 14. マルチチャネル化 | 15. SCM | 16. 産業 |
| 17. 一貫パレチゼーション | 18. オムニチャネル化 | 19. HRM | 20. 商品管理 |

問9 次のA～Gの文で、①②の両方が正しい場合には『1』、①②のいずれかが誤っている場合には『2』、①②の両方が誤っている場合には『3』を解答欄に記入しなさい。

- A. ①2014年時点における、日本の全繊維消費量の約4割が衣料用である。
②2014年時点で、世界の全原料繊維生産量の8割をポリエステルが占めている。
- B. ①家計調査における衣料消費は、選択的消費に含まれる。
②家計調査における外食費は、選択的消費に含まれる。
- C. ①2015年における34歳以下の女性の一人当たりの被服費の支出額は同世代の男性の約3倍である。

- ②女性の衣料品消費が高くなった一つの大きな要因は、女性の社会進出があげられる。
- D. ①紡績企業は、綿紡績、毛紡績、麻紡績、合繊紡績などに分けられる。
②織物の中間業者のうち、現在は全国的に見て、その数が減少しているのは買継商である。
- E. ①小売業態において、ファストファッションは専門店に含まれない。
②日本では、食品を含めた幅広い商品展開を行なっている大型量販店をGMSと呼んでいる。
- F. ①「輸入繊維製品の品質ガイドライン」は、2007年に社会的問題となったホルマリンの混入を大きな契機として制定された。
②「輸入繊維製品の品質ガイドライン」を定めたのは、日本アパレル・ファッション産業協会である。
- G. ①アパレル製品における派遣販売員制とは、主として百貨店に見られる商慣行である。
②返品条件付き買取制の場合、商品の所有権は買い手側にある。

問10 次の文中の（ ）内に、最も適当なものを下記の語群の中から選び、解答欄に数字で答えなさい。

衣料用洗剤は表示事項として、品名、成分、(A)、用途、正味量、使用量の目安、使用上の注意が定められている。品名は「洗濯用石けん」「洗濯用(B)」および「洗濯用合成洗剤」に区分して表示される。



石けんは主たる洗浄作用が(C)である純石けん分によるものと規定され、純石けん分の含有量が主成分である界面活性剤の(D)%以上で、純石けん分以外の界面活性剤が配合されているものは洗濯用(B)として区別されている。

石けんは、水中の(E)成分である(F)などの多価金属イオン成分と結合して水に不溶の(G)を生成し、洗浄作用を阻害する。

[語 群]

- | | | | |
|-----------|----------|----------|-----------|
| 1. pH | 2. カリウム | 3. 硬度 | 4. ナトリウム |
| 5. 混合石けん | 6. 金属石けん | 7. 半合成洗剤 | 8. 黄ばみ |
| 9. 脂肪酸塩 | 10. 50 | 11. 60 | 12. 70 |
| 13. 液性 | 14. 脂肪酸 | 15. 汚染 | 16. 複合石けん |
| 17. カルシウム | 18. 生分解性 | 19. 黄色物質 | 20. 黒カビ |

問 11 次のA～Iの記述で、①②の両方が正しい場合には『1』、①②のいずれかが誤っている場合には『2』、①②の両方が誤っている場合には『3』を解答欄に記入しなさい。

- A. JIS L 0001 で定められた次の記号の意味 
①水洗いはできない。
②ウエットクリーニングはできない。
- B. JIS L 0001 の次の記号がついている衣類 
①過炭酸ナトリウムが成分の漂白剤が使用できる。
②過酸化水素が成分の漂白剤が使用できる。
- C. 衣類の洗濯用界面活性剤として使用されるもの
①ゼオライト
②カルボキシメチルセルロース (CMC)
- D. 弱アルカリ性の洗剤
①重質洗剤
②液性は pH 8～11 である。
- E. 洗淨試験に用いられる MA 試験布
①洗濯時の機械力を測定する。
②直径 10mm の孔が 5 箇所ある。
- F. ①化学物質管理に関する制度として、エコパスポートがある。
②地球温暖化対策に関する制度として、カーボンオフセットがある。
- G. ①スカートに裏生地がある場合、必ず裏生地の組成を表示しなければならない。
②成人男子衣料の体型区分表示は、チェストとヒップの差のドロップで表される。
- H. ①JIS L 0001 では、JIS L 0217 にあった「当て布」の記号がなくなっており、「当て布」という付記用語による表示をすることもできない。
②JIS L 0001 でのウエットクリーニングとは、従来のランドリーのことである。
- I. ①家庭用品品質表示法に定められている衣料品には、サイズ表示が義務付けられている。
②繊維製品品質表示規程で、手袋は家庭洗濯等取扱い方法の表示をしなければならない。

問 12 次の文中 [A] ~ [I] の後ろの () 内に示す語句の中から、最も適当なものを選び、解答欄に数字で答えなさい。

- I. JIS L 0001 において、表示者は表示した記号に対してその記号を選定した [A] (1. 理由またはデータ 2. 表示者名と住所 3. 実験根拠と実験者名) を所持することが望ましいとしている。
- II. JIS L 0001 において、JIS は [B] (1. 5 個 2. 6 個 3. 7 個) の記号を表示することを推奨しており、これは ISO の基本記号の数より多い。
- III. 混用率を表示するとき、数値が 5 の整数倍の場合 (100% を除く) の許容範囲は、[C] (1. $\pm 3\%$ 2. $\pm 4\%$ 3. $\pm 5\%$) である。
- IV. 家庭洗濯等取扱い方法の表示で、漂白記号が省略されているときは、その記号によって意味している [D] (1. 漂白ができない 2. すべての漂白処理ができる 3. 漂白できるかどうか分からない) と解釈される。
- V. サスティナブル原料であるトウモロコシやサトウキビなどを原料とした合成繊維は、[E] (1. プロミックス 2. ポリ乳酸 3. ポリクラール) である。
- VI. ドライクリーニング溶剤には CFC-113 のように [F] (1. オゾン層保護法 2. 大気汚染防止法 3. 廃棄物処理法) に基づく特定物質に指定され 1996 年以降、製造禁止になっているものもある。
- VII. 下着の原産国表示は、[G] (1. 原料繊維の生産国 2. 生地が織編された国 3. 縫製された国) である。
- VIII. 身長が 154~162cm の成人女子の M サイズのバストは、[H] (1. 75~80 2. 79~87 3. 86~90) cm である。
- IX. 成人女子用の衣料のサイズ表示には、体型区分表示、単数表示、[I] (1. 記号表示 2. 範囲表示 3. 寸法表示) の 3 種類がある。